

令和6年度 第3回 学校運営協議会 会議録

日時 令和7年2月17日(月) 14:00~15:00

場所 水沢高校 大会議室

1 開会

2 校長あいさつ

生徒と保護者と教職員の三者に対して行われた学校評価アンケートの集計結果が出たのでご意見をいただきたい。また今年度最後の学校運営協議会となる。次年度に向けご意見、ご提案をいただきたい。

学校の近況についてですが、アンケートにも改善要望が多いトイレの改修について順次行っている。第二体育館の照明はLED化工事を半分ほど行った。3階に長年放置されていた展示棚の工事を行い、野球部の栄光の軌跡とか各部のトロフィーを展示した。

学校行事はすべて予定通り行った。基本的には生徒会が中心となって企画から運営まで行うのが水高の伝統になっている。生徒会が頑張っていて伝統を引き継いで継続しているところである。

学習関連については、各学年での進路講演会、理数科の理数探究発表会、大学の先生による出前授業など計画通り行った。特に大学との連携については、DXハイスクールに認定された関係で理数科中心になるがデータサイエンス等に関係する講演会や出前講義も新規に行った。

生徒と先生が授業のあり方について一緒に考えるという100名規模の学習イベントも開催することができた。

3年生の大学進学状況について、推薦とか総合型選抜の出願数が少し減っているが東北大学、筑波大学、新潟大学などの難関大学にも合格者を出している。来週25日から始まる国公立の前期試験に向けて生徒は二次対策授業を受講しているところである。

高校入試の倍率が報道で発表され、調整前の志願者は240名ということで倍率は1.0倍という形になった。

議員の皆さまからの御意見、御助言につきまして、先生方と協議をしながら今後の学校運営に生かして行きたいと考えている。

3 協議(司会 東会長)

ア 令和6年度学校評価アンケート結果について

【副校長】

生徒の学校評価アンケートでは、ほとんどすべての設問において80%を超える高い評価をいただいている。また昨年より高い数値がほとんどとなっている。

今年度はICT機器の授業における活用状況を評価項目として新たに入れた。80%を切る評価となっているので改善してICT機器を生かした授業を展開したい。

設問23の携帯電話の使用については指導に苦慮しており、10時を過ぎても使用をやめられない生徒もいる。

地域ボランティアへの参加については、学校から強制するものではなく自主的な活動と考えている。保護者アンケートも全体としては、生徒と同様に高い評価をいただいている。

コメント欄については、同様のコメントをまとめて載せている。トイレの洋式化については多数意見があった。事務室と協力して改修を行いたい。今年、1階男子トイレの洋式化を行った。

5ページは教員の自己評価になる。皆様からこちらもご意見いただいて、改善に繋げていきたいと考

える。

【議員】

アンケートについて、「先生は熱心に指導している」と「入学してよかった」が高い数値となっている。生徒にとっては良い環境、雰囲気となっている。トイレの洋式化も随時対応していると聞いて安心した。机椅子の更新もお願いします。全体的に良い傾向となっているようだ。

【事務長】

机・椅子についてはすでに調査を行い、制服に傷がつくようなものは修繕等の対策をしている。

【議員】

スマートフォンの使い方について学校でも指導されてるが、家庭での指導も大切だと思う。使い方については家庭との連携が必要。

ボランティアについては情報を生徒に伝えてもらいたい。生徒にとってボランティアは良い機会でもあると思う。

理数科以外の情報提供が少ないとある。魅力ある学校づくりの中に情報発信も入れてほしい。

【校長】

スマートフォンの使用について、家庭でお願いしているものもある。生徒の中には依存症になっている生徒もいる。

ボランティアはその考え方から、学校の目標から外しても良いのではと考えている。学校生活の中でのことのみについてアンケートするようにしたほうが良いかと思う。

情報発信について、理数科通信という紙媒体を出している。普通科は note にデジタルで結構載せているつもりである。なかなか紙で配っても届かないことも多いのでデジタルで配信する方向へ考えたい。

【議員】

ICT の活用についてももう少しどのように分析され、今後どのようにしていこうと考えているのか。

教員のアンガーマネジメントについて、何かあったのか教えてほしい。

【校長】

ICT 機器がコロナ以降急に入ってきて、生徒も全員使えるようになっているが、物理的な問題もあって複数クラスが一斉に Wi-fi につなげると速度が落ちる。使用する環境としては良好ではないため、生徒が ICT 機器を使う頻度は多くない。

アンガーマネジメントについては、先生方が生徒に対する中で、強めの口調で指導した時があったかもしれない。

【議員】

トータルとして良いアンケート結果である。入学して良かったが 9 割であり、先生方の御指導の賜物である。

イ 令和6年度働き方改革について

【副校長】

今年度、働き方改革について、資料のとおり取り組んできた。皆様からご意見、アドバイスをいただきながら来年度に繋げていきたい。

超過勤務の制限時間が100時間から80時間までにということになった。これまで80時間を超えた教員は一人だけとなっている。

また、年次休暇の取得日数も若干であるが昨年度より増加した。勤務軽減と勤務の平準化を引き続き行いたい。

【事務長】

職員一人あたりの月平均の在校時間は昨年度に比べ減っている。昨年度の状況から改善している。具体的な取組内容が功を奏した。また、先生方の意識も変わってきていると分析している。

【議員】

中学校も超過勤務は課題となっている。なかなか減らない現状がある。何か効果的な事例があったら教えてほしい。

【副校長】

まず教員が時間を意識している。80時間を超えないように一人一人が考えていると思われる。主な原因は部活動の時間によるものなので、土日の部活動時間をきちんと把握することにしていく。

その他 今年度の進路状況について

【進路主事】

今は私立大学の入試が終わり発表を待っている状況である。国公立大学は25日から前期日程が始まるので、あと1週間というところで準備をしている。本日は総合型と学校推薦型で合格している生徒についてお知らせした。国公立大学の出願は今年度85名であった。そのうち合格が35名ということになっている。現時点での合格率は約40%である。比較的本校は合格している方である。私立大学の推薦は14名合格している。

かなりの生徒が国公立大学の受験を考えている。前期、中期、後期と3月までねばり強く受験して行く予定である。

4 委員の皆様からの提言、要望等

【議員】

高校入試について、特色入試の水沢高校の実態について教えてください。

【校長】

今年から始まった制度である。一般入学者選抜の翌日に特色入試をすることになる。定員は12名。特色入試を受ける生徒は一般選抜を受験してさらにその翌日に特色入試を受験する。本校は理数科もあるので理科と数学の口頭試問を行う。県のホームページ等で通知しており、選考方法は各校に任せられている。

【議員】

学校が愛されていて、先生に対する生徒の信頼も厚いということで非常によろしかったと思う。

【議員】

この議員になってから一貫して話しているが、社会に出てたくましく働き、仕事に取り組み、そして社会の中で生きていける、そういう生徒をぜひ育てていただきたい。少々のアクシデントとかトラブルには対応できるような人で、一人でやるのではなく、みんなでやるんだということをぜひ学ばせてください。

【議員】

PTAの立場で参加させていただいている。このアンケート結果見て、学校にお願いする話ではなくて、逆に学校側からPTAを通じてお願いしたいことを何かしらの形で発信させてもらえたらと思う。情報の発信について内容とタイミングについて共有していきたい。

【議員】

水高は定員割れがなかったが、受験に対しての緊張感とか危機感というのは明らかに少ない。

県全体の平均が1倍に満たないので、勉強しなくても大丈夫かなと思うのは当たり前のことである。そういった中で、いかに子供達に勉強させていくかは課題である。岩手県全体の学力が下がっていくということに関して本当にこの先どうなるのかと感じている。中学の段階で、もっと底上げできるようにやっていければと思う。

【議員】

以前はSSHの方で参加させていただいた。非常に良い取組だったと思っている。

今の大学生は非常におとなしい。教員側からすると、問いかけをして戻ってこないということが増えてしまっている。自分は留年するかしないかという時でも切迫感がない状況。少しでもストレスをかけるとすぐに諦めてしまうというような状況である。高校生も同様に大人しくなってしまうのかうかがいたい。

先程学力の低下というような話もあったが、学力に関しては、大学生は勉強している。しかしアウトプットの仕方を知らない。自己流で勉強をする学生が増えてきている。知識がつくと、生半可知ってるだけに他人に聞かない状況になってきている。ぜひ若い段階でのコミュニケーション能力が必要だと思う。

【教務主任】

本校は逆に積極的な生徒は多い気がするが、発信力の弱さはある。また、実際に改まった場になると、

普段の積極性は急になくなる。発信をする機会が少ない。

大量の情報を駆使しながら学習するところで自己流になってきている。こちらの問いかけに答えられない生徒も増えている。

【生徒指導主事】

合宿や遠征の宿泊も旅館ではなくホテルのシングルルームになってきている。部活動は加入率が高いが、コミュニケーションの機会が減ってきている。コミュニケーション能力を高める必要がある。

【進路指導主事】

応援歌練習が成り立たなくなっている。以前は覚えろと言われたことは覚えた。今は周りの様子を見て自分が間違えなければ良いという感じである。周りを見てその場での答えが整理できれば良いという姿勢がある。諦めるのが早い傾向がある。

【校長】

日本の教育全体の問題であるが、認知能力や非認知能力が話題に出てきている。非認知能力という回復力、コミュニケーション能力、思いやり、人を助けようと思う力が結構育っていない。いろいろ手立てをするが簡単には育たない。それこそ家庭との協力が必要がある。

【議員】

アンケートで学校の先生に話しやすくなったということですごく良いことだと思う。(学校評価アンケート「先生は、生徒の話をよく聞き相談にのってくれる 88.5%」)

生徒のコミュニケーション能力は授業だけでなかなか強化するのが難しい。自分で考える、それから意見を言う、あるいは先生と意見を交わすといった機会を増やしてほしい。

5 連絡

【副校長】

来年度の学校協議会の委員について

皆様の任期はこの3月で終わりになるが、再任ができるので来年もう一年お願いしたい。

以上